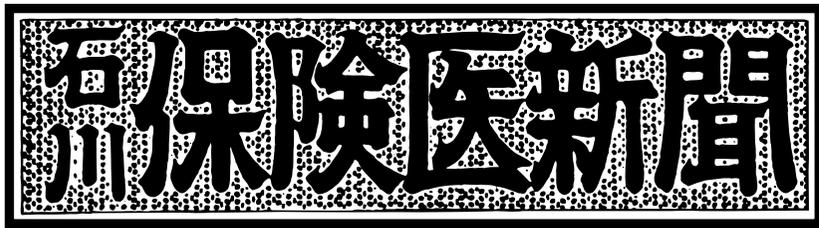


主な記事

- 2面 おサル先生の在宅医療入門
- 3面 医師会会費は“経費”
- 4面 保団連が朝日新聞に意見広告
- 5面 人事管理のノウハウを学んで
- 6面 春の食べ歩き会のご案内

今月の会員数/926人(医科671人・歯科255人)



発行所  
石川県保険医協会  
〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号  
尾張町レジデンス2F  
電話 (076) 222-5373 番  
FAX (076) 231-5156 番  
発行人 高松 弘明  
印刷所 ソノダ印刷株式会社  
購読料 1年間 5,000円 (〒共)  
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

# 早い・正確・分かりやすい 医科新点数検討会に

## 過去最高 750人

石川県保険医協会は、三月二十五日金沢市観光会館、翌二十六日七尾サンライフプラザにて医科新点数検討会を開催し、両会場とも過去最高のそれぞれ六百六十人、九十人の参加者がありました。

保険医協会・保団連では、診療報酬改定に係る実務がスムーズにいこう、①早くて正確な情報提供、②分かりやすいテキストの作成、③懇切丁寧な新点数検討会の開催、④改定点数に関する電話相談などを行

担、診療録の記載、請求方法についての最新情報が掲載されています。今改定の特徴は、①第四次医療法改定を先取りし、医療機関の機能分化、再編強化をはかったこと、②包括、定額制の拡大と選択制の廃止により医療費の抑制をはかったこと、③介護保険実施に伴い医療保険給付を制限し、従来の療養型病床群から介護療養型医療施設への経済誘導をはかったことなどです。

新点数検討会では、工藤事務局長が最初にこのよう

と介護保険との関連、居宅療養管理指導の算定要件などたくさん質問が寄せられています。

保団連では全国各地の質疑応答を集約し、厚生省に確認を求めて四月下旬に第二次検討会用のテキスト「新点数・介護報酬Q&A/レセプトの記載」を発行します。石川協会では新

九日、金沢、七尾両会場で開催しています(下記参照)。会員、ご家族、スタッフの多数のご参加をお勧めします。



金沢会場660人、七尾会場(写真)90人が参加

医科診療報酬  
介護報酬  
相談受付中  
TEL076(222)5373/FAX(231)5156

### 医科 新点数運用説明会のご案内

**金沢会場** ●と き/4月29日(土・祝日) 午前10時~正午  
●ところ/石川県地場産業振興センター 本館大ホール

**七尾会場** ●と き/4月29日(土・祝日) 午後2時半~午後4時半  
●ところ/七尾サンライフプラザ 2階視聴覚室

●内 容/①新点数及び介護報酬に関するQ&A  
②レセプトの記載

●テキスト/『新点数運用・介護報酬Q&A/レセプトの記載』(2000年4月)

●参加費/会員医療機関は1人無料、2人目から1,000円

●申込み/4月21日までに医療機関名と参加人数をお知らせ下さい。

●主 催/石川県保険医協会  
TEL 076-222-5373/FAX 076-231-5156

## 歯科 保団連新点数検討会 協会から電話会議で参加

インレーも補綴物維持管理への布石となった。ステディモデルの検査結果を記載しなければならぬものが明記され、診療より書くことが仕事になりそう。調Bが調整のみから指導も追加になり、内容を記載しなければならなくなった。点数の割には裁量権がどんどん狭くなる。カルテ開示に向けての記録作り、保存に道筋ができ、調査、監査にかなりの縛りができた。障害者加算が主治医の判断ではなく成文化された。六歳未満と訪問診療の百分の五十加算から補綴物がはずされた。充填、支台築造、乳歯冠だけが残った。施設から居宅への訪問歯科診療が重要視され、かかりつけ歯科医の分担が明確になり始めた。

### 医心凡語

今や日本人は団塊の世代を越えて、昭和元祿も過去の夢と去り、橋本内閣ではバブル崩壊の引き金に手が掛かり、経済は弾けアメリカニズムに押し流され民族の独立性と精神性は失われ、ドル建て経済一辺倒となり、民族自決主義の原点もインターネット資本主義の圧力に屈し、金融ビッグバン恐慌時代に移っていく▼終戦後のベビーブームは去り、民族衰亡の象徴「少子高齢化」の風潮が押し寄せる社会現象にさらに上乗せするように、後退した景気回復の足をすくう、平和ボケの社会を襲う殺人・強盗・誘拐、さながら戦国時代再来のバーチャルリアリティー▼まさに日本国内に警察署不在の怪、警察幹部キャリアの職務怠慢が国中を震撼させた。保利国家公安委員長は責任をとって辞任。それもそのはず、犯人の男が幼女を九年間も監禁幽閉していても警察は知らぬ顔。越智金融相は更迭へ。いつもの不意な失言から馴れ合いの体質が覗き、不祥事として解任の憂目▼厚生官僚首脳にも土(ドロ)。非加熱製剤の販売を許可してエイズ無辜(むこ)感染の大罪。臨床医界でも医療ミス頻発。小学生や中学生の首吊り自殺など、教育界の荒廃ここに極まる。二〇〇〇年ミレニアム。ノストラダムスの大予言的中。「上正しからざれば下乱る」の格言どおりである。



# おサル先生の 在宅医療入門

小川 滋彦(金沢市・内科)

## 『医療的重度の高い人を 介護保険は救うことができるか?』の巻

おサル先生の町内にお住まいのBさんが、D病院から退院してきたのは昨年の暮れのことだった。Bさんは七十四歳の男性で、数年前に脳卒中を患ってから入院を繰り返していたが、今回の入院では嚥下障害が悪化したために胃瘻栄養となつて帰ってきたらしい。

Bさんに息子さんはいるのだが、仕事の関係で東京に居るため奥さんと二人暮らしである。D病院は、介護保険を介して訪問看護でサポートします、と説得された、家に帰ることにしたのだという。

そんなBさんの奥さんから往診を頼まれたのは、年が明けて一月の中ごろであった。D病院からの訪問は曜日が決まっており、それ以外の日はなかなか対応が難しい、それなら近所のおサル先生が便利だということとで相談を受けた。

おサル先生はどちらかというと、病院に主治医のいる患者さんの方が、ホイホイと軽い腰で出かけていく。ちよつとご主人の栄養剤注入の時間で、「ちよつと注

待って下さい」と奥さんは声をかけてくれたので、それに「じゃあ、また寄せて下さい」とお宅を後にすることにした。

それから週に二回、D病院のスタッフが来ない日や入浴サービスのない日を縫うようにして往診したが、おサル先生の専ら仕事は奥さんの相談相手になることだった。

奥さんは相変わらず痰取りの毎日で、かなり疲れ切った様子。おサル先生は「水を差すようなことを申しますが、前置きして、ご主人のような医療的に重度の高い人は本当は入院の方がふさわしいのでは?」と遠慮がちに問うたところ、「私もD病院の先生にそれとなく聞いてみただけで、せつかく家に戻ってきたのですから三ヶ月はがんばって見ないと」と励まして下さるばかりです。という。

じゃあ、せめてショートステイでも、と提案すると、「どうも主人のように手のかかる者は対象外だということなんです。そんなことはないだろう、それじゃあ何のためのショートステイだ、調べてみます。場合によっては交渉してみます」と、おサル先生は一肌脱ぐ気にな

なつた。帰院してからいくつかの施設に電話してみることが、奥さんの言うとおり、胃瘻だけなら何とかなるかもしれないが、そんなに吸痰を頻繁にしなくてはならないんだしたら、夜間はナースが常駐してないのでは?と皆断わられてしまった。

次の週に訪問すると「要介護5が取れたので、今度D病院の担当の方がケアプランを立てていらして下さるんですよ」「いやあ、何とか早く介護保険が発足してくれるといいですね。ご主人のような方を支えてくれる制度だといいたすね」とおサル先生は調子を合わせた。

しかし、その次の訪問では、ふだん温厚な奥さんがやる方ない思いをぶつけてきた。

「ケアプランを立てていただいたんですよ。でも、主人の使えるサービスは何もないんです。ショートステイもダメ、ヘルパーさん

な工夫をしているのでしょうか。ストープがあれば少しあぶってからあてればよいのですが、もっとよい方法はありますか。聴診器にカバーをかけるわけにもいきませんもんね。

■みずいぼの処置について、みずいぼセッシでとれば一番早くて確実なのですが、2,3個まではよいのですが、それ以上はあばれて至難のわざです。しかも以後は決して再発してもとらせてはくれません。硝酸銀の溶液を頭につけたことありますが、黒くなったり、痛がゆいので動いて横っちょについたりしてなかなかうまくゆきません。アラセナ軟膏をつけたことありますが(適応外ですが)、著効はみられません。皮膚科の先生、教えてください。

■爪の白癬で、強い経口薬を飲まずに治す方法はありますか。イトリゾールやラミシールは添付文書を読んだだけで使いたくなくなります。

以上ですが、もっと聞きたいことはきつとたくさん皆さんもっていらっしやると思っています。ぜひ、編集部で検討して採用してください。よろしく願い申し上げます。

### 編集部から

『石川保険医新聞』のご愛読ありがとうございます。編集部でご提案の企画について検討させていただきます。

読者の中で上記の相談に対してご回答いただける方は、編集部までお寄せください。お待ちしております。

TEL 076-222-5373  
FAX 076-231-5156  
E-mail iskw\_sugino@doc-net.or.jp

### 会員投稿

#### 『石川保険医新聞』への提言

安田 紀久雄(鹿西町・内科)

こんにちは。いつもなにかとお世話になりありがとうございます。本日は、私の大好きな『石川保険医新聞』に提言をします。よかつたら採用してください。

1. 「なんでも相談コーナー」または、「よろず相談コーナー」なんてのを作ったらどうでしょうか。自分の専門外のことでも悩んでいることが多々あると思えますのでそれを掲載して、専門家に教えるを請うのです。専門家は大学の先生ではなく、一線で頑張っている先生のほうがより実際的で役に立つアイデアを持っておられる可能性が高いと思います。

2. 「ドクター〇〇の△△講座」なんてのもどうでしょう。手始めに、「緩和ケア講座」と題して、どこかの麻酔科の先生が実際に緩和ケアをしておられる先生の講座を数回にわたって掲載していただきたいと思います。鎮痛剤や麻薬の実際的な使い方を指導してくだされば、難しい本を読んで居眠りをしなくかがででしょうか。

さて、さつそく1. についての私の相談をお願いします。(もう採用されたつもりになっています)

■診察用のベッドに敷くシーツ、あるいはベッドカバーで、冷たくなくてかつ汚れなくて汚れてもすぐに拭いたりできる素材のものはないでしょうか。ディスクだと経費がかさむのでできるだけディスクでないほうがよいです。

■往診に行つて患者さんに聴診器をあてると、あまりに冷たくて心臓が止まりそうだと

された、家に帰ることにしたのだという。

そんなBさんの奥さんから往診を頼まれたのは、年が明けて一月の中ごろであった。D病院からの訪問は曜日が決まっており、それ以外の日はなかなか対応が難しい、それなら近所のおサル先生が便利だということとで相談を受けた。

おサル先生はどちらかというと、病院に主治医のいる患者さんの方が、ホイホイと軽い腰で出かけていく。ちよつとご主人の栄養剤注入の時間で、「ちよつと注

なつた。帰院してからいくつかの施設に電話してみることが、奥さんの言うとおり、胃瘻だけなら何とかなるかもしれないが、そんなに吸痰を頻繁にしなくてはならないんだしたら、夜間はナースが常駐してないのでは?と皆断わられてしまった。

次の週に訪問すると「要介護5が取れたので、今度D病院の担当の方がケアプランを立てていらして下さるんですよ」「いやあ、何とか早く介護保険が発足してくれるといいですね。ご主人のような方を支えてくれる制度だといいたすね」とおサル先生は調子を合わせた。

しかし、その次の訪問では、ふだん温厚な奥さんがやる方ない思いをぶつけてきた。

「ケアプランを立てていただいたんですよ。でも、主人の使えるサービスは何もないんです。ショートステイもダメ、ヘルパーさん

が来て痰は取れません。入浴サービス以外のいっただい出来るといいうんです。せつかく要介護度5をいただいたって、何も使えないものがないんだしたら、何のための介護保険なんですか!」

おサル先生は心の底から何とかしてあげたいと思つた。そこで、P先生(第六、七回の登場)に相談することにした。

「そりゃあ、病院の療養型病床群の対象患者だよ。そんな重度の高い人を在宅でみていること自体がおかしいよ。それも大家族ならいいから、奥さんひとりいざ知らず、奥さんひとりじゃないの? ちよつと無理じゃないの? 介護保険に便乗して何でもかんでも在宅だ、と踊らされる奴らも悪いが、長期入院は社会的入院だ、悪だ、と決めつけるお役人はもつと悪いよナ」

おサル先生は、そのキャパシティを超える数の患者を囲い込もうとする「医療福祉複合体」の現実を見た気がしたが、そういう自分

に何もしてあげられないことを考えれば、それを否定する気にもなれなかつた。

### 囲碁解答

黒1が好手です。黒7迄で隅の黒は生きています。白は8以下黒17迄で無条件死となります。黒1が攻守に働いています。

(問題は6面にあります)

### 7つ6まがいがし(答え)

(問題は5面)

- ①ジエット機の翼②中央下のコブシの花③車のライト④雲の航跡⑤左下チューリップの花⑥船の航跡⑦野球帽のつっぽん

二〇〇〇年度第一回理事会点描

三月に入ったというのに、まだ小雪がちらつく寒い日が続いていたが、保険医協会ではお二人の新しい理事を迎え、新鮮な雰囲気の中、二〇〇〇年度第一回目の理事会が開かれた。

今回も先月よりお騒がせしていた協会事務所で発生した盗難事件の後処理についての議題より始められた。当該金融機関との折衝が一応終了したこと、協会事務所の防犯防災体制の進行状況などについて報告があり、「今回の経験を生かしてのメンテナンスが必要では」との意見も出され、今後との課題となった。協会と

### 新理事2人を迎え2000年度がスタート

(3月7日・13人出席)

放されたという安堵の雰囲気を感じられた。今回、金銭的な被害が最小で済んだことは不幸中の幸い

であったと思われるが、近年世間で頻発している凶悪事件のことを考えると、人的被害がまったくなかったことは最も喜ぶべきことと思われる。

次に、他県で起きた税務調査の事例で「医師会個人で加入するものであり、一人医師医療法人では、医師会会費は必要経費とは認められない」と税務署より言われた事例があることが報告された。まったくおかしな話であるが、しっかり事実関係を明らかにし、協会としても今後の対応を考えていく必要があると思われる。

(柴山 記)

## 持論

最近どれだけ適切な診療であっても、医療費削減で頭がいっぱいの保険者は、査定できそうなものはすべて査定するに徹しています。これに対して、保険医が実行すべきことは、必要と判断して行った医療行為の査定に対しては、金額の多少に関わらず再審査請求をすることです。

たとえば尿沈渣、血液像、血清蛋白分画といった細かな検査項目について必要ではないかという保険者からの再審査請求が容認される傾向があります。保険指導でも同様のことが指摘されています。しかし、これらの検査は、それぞれ尿一般、末梢血液一般、血清蛋白定量検査

# 再審査請求で審査の改善を

と一体となつてはじめて意味を持つもので、一般検査のみでは中途半端な情報しか得られません。にもかかわらず、算定要件として診察所見や一般検査の異常が要求されたり、頻繁に実施

求めてくるものと思われれます。そして、単価が低いが故に、査定されても再審査請求しない保険医がいることが懸念される状況であります。

ここで、これらの検査が本当

することは不必要な検査と決めつけ、これらの検査のルーチン化を戒めるような指導がなされていきます。そのため、保険者は、これらの状況を理由に再審査請

に必要性が少ないものなのか尿沈渣を例に考えてみましょう。現在市販されている検尿テープは一〇項目を数えるものがあり、得られる情報は少なくあり

## 税務相談Q&A

# 医師会会費を経費否認?

**[Q]** 確定申告時期にある県で、一人医師医療法人の税務調査があり、税務署が「一人医師医療法人では医師会の会費は経費(損金)と認めない」と経費否認しています。税務署は「医師会は個人資格で入るもの。公的病院で勤務医の医師会費は医業経営に役立っていないので経費とは認めない。個人の青色申告でも疑問がある」と、主張しています。どのように対処すればよいですか。

**[A]** 「一人医師医療法人では医師会の会費は経費(損金)と認めない」という税務署担当者の見解は、通常では理解できません。「公的病院で勤務医の医師会費は医業経営に役立っていないので経費と認めない」という主張も一方的だと思えます。

税務署の主張がどうであれ、医師会の会費が医業経営に必要かどうか、役立っているかどうかは、申告納税制度のもとでは納税者自身が第一義的に判断すべき事項です。事実を一番正確に知っているのは納税者自身だからです。

万一、調査でこのような指摘を受けた場合には、医師会の活動内容やそれを通して得た情報や知識・人脈などが、いかに医業経営に役立っているかを十分に説明し説得して下さい。もしそれでも納得してもらえず、一方的な修正申告を求められても(他に先生が納得できる項目は別として)会費に関しては修正項目からはずすべきでしょう。

### 【参考として】

#### (1) 「損金の額の意義」に関する判決要旨

ある支出が益金処分となるか、それとも損金を構成するかの判断に当たっては、その法的形式の外面にとらわれることなく、当該企業経営の実態を解明し、問題の支出が企業の経営において果たす役割乃至機能を実質的に把握考察して決すべきものと解される。(昭和40. 10. 21東京高裁)

#### (2) 法人税基本通達9-7-15の3 (同業団体等の会費) では

「法人がその所属する協会、連盟その他の同業団体等に対して支出した会費の取り扱いについては、つきによる。

1. 通常会費(同業団体等がその構成員のために行う広報活動、調査研究、研修指導、福利厚生その他同業団体としての通常の業務運営のために経常的に要する費用の分担額として支出する会費をいう)については、その支出をした日の属する事業年度の損金の額に算入する。以下省略。

(石川県保険医協会顧問税理士 中村栄希)

●上記のような調査事例がありましたら協会事務局まで一報下さい。

# 新年号コンクール 講評

本紙前号(3月号)でお知らせしましたように、日本機関紙協会主催の新年号コンクールで「奨励賞」(全国5位)を獲得し、その講評が届きましたので、掲載します。(編集部)

## 新年号コンクール講評

毎回の機関紙誌コンクールに応募いただきありがとうございます。毎回、拝見させていただく中で本当に力を付け集団編集されて出来上がっていることに驚いています。協会加盟の会員や社会保障関係者からの評価の高さも窺えるものでした。

審査の結果は「奨励賞」を受賞されました。「優秀賞」との差もほとんどありません。賞数の関係での議論の結果でした。今後とも自信を持って紙面づくりに取り組まれることを期待します。

1面の写真については表情が明るく、よく撮れて、すばらしい写真で元気が伝わってくるものです。全体的にも20頁建、頁ごとに読み物として良く編集されていました。座談会記事も簡潔な見出しで、思わず読み出したいくなるよう工夫されていますね。これらも編集担当者の集団製作と団結の賜物と思ひ、頼もしい思いがしました。

引き続き読者へ、力になる、ためになる読み出したい機関紙づくりに継続されることを期待しています。

(審査委員 鈴木明)

第2休業保障ご加入の皆様へ

# 年間保険料の20%を還元します

「第2休業保障」は、病気やケガで診療不能になったとき、加入口数に応じて給付される制度です。当会では従来の「保険医休業保障」の満口加入者を対象に、「上乘せ」として普及しており、制度発足から6年目を迎えています。

30歳代、40歳代の若い世代でも突然の休業が意外に多く、「第2休業保障」は「保険医休業保障」とともにいざという時に公的保障のない開業医の強い味方になっています。

なお、本年度は3月末までに第2休業保障の保険金請求はなく、加入者全員に保険料無事故戻し金(還元金:年間保険料の20%)をお返しできるようになりました。還元金は4月20日付にて保険料引落し口座に送金手数料を差し引いて振り込みます。ご査収下さい。

(還元金=年間保険料の20%-送金手数料)

税務処理上は、個人で契約し保険料を損金計上していない場合、還元金は収入として計上する必要はありません。医療法人で契約し、法人名義の銀行口座を指定した場合には保険料は損金扱いとなりますが、還元金は雑所得となります。



小宴山椿園のツバキ

最後の見学場所は修善寺梅林でしたが、道路事情、その他で予定時間を超過し、人の話が良く聞きまじったので、梅林入り口でバスを降り、バス旅行は途中で終わらせてもらい、電車で帰宅しました。

ある河津桜の見学ですが、この桜は今が満開で、昨年の花見客より多いようでした。特に、桜まつりの中心の河津駅付近の所は花見客の雑踏はなほだしく、ゆつくり歩けない状態でしたし、メインの河津川の沿岸は、天気は最高でしたが特有の風が強く、落ち着いて花見のできる状態ではありませんでした。桜の花については前回お知らせしましたので省略しますが、今回はバス旅行だったので、河津桜の原木を見学できましたが、この桜は実に見事としか言いようのない大きな花の咲いた立派な古木でした。しかし、この区間には一九〇五年(明治三十八年)に開通し、いにしえの天城越への交通状況を一変させた旧天城トンネル、樹齢百年を越えた杉が立ち並ぶ宗太郎杉並木、伊豆の踊り子像、伊豆の踊り子文学碑、温泉会館など、見る所は多くありますが、バスは新天城トンネルを通過する有料道路を一路修善寺に向かいました。

## 寄稿

# 早春の花めぐり

名誉会長 後藤田 博之 (熱海市在住)



河津桜の原木

時期は長くて、椿園の花は満開とは言えませんが、その広さ、つばきの数では観る者を楽しませてくれました。次の見学地の稲取温泉では、古くから雛祭りの際、雛壇の両脇に一对のつるし飾りを飾る習慣があり、親から孫へと、子から孫へと、代々受け継がれてきた稲取温泉雛のつるし祭があり、各家でもいく種もの人形たち、ひとつひとつ思いを込め子どもたちの幸せを願う飾りをしています。今は大きな民家一軒全体を稲取温泉が「雛の館」に改装して、数多くの雛をつるして観光客の目を楽しませています。昼食後、今回のメインで、ある河津桜の見学ですが、この桜は今が満開で、昨年の花見客より多いようでした。特に、桜まつりの中心の河津駅付近の所は花見客の雑踏はなほだしく、ゆつくり歩けない状態でしたし、メインの河津川の沿岸は、天気は最高でしたが特有の風が強く、落ち着いて花見のできる状態ではありませんでした。桜の花については前回お知らせしましたので省略しますが、今回はバス旅行だったので、河津桜の原木を見学できましたが、この桜は実に見事としか言いようのない大きな花の咲いた立派な古木でした。

## 休業保障制度 ただ今、受付中

— 2000年度申し込み：5月25日まで —

詳しくは本紙号外『休業保障特集号』をごらん下さい。

# 保団連が朝日新聞(4月3日付)に意見広告を掲載

### 意見広告



## 私たち医師は、患者さんの負担増で診療報酬引上げを要求してはいません。

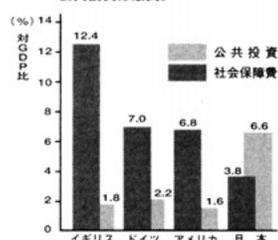
### 全ての患者さんに最良の医療を…診療報酬の改善で

もし病気になったら、「最良の医療を受けて早く治りたい」。これはすべての患者さんの願いではないでしょうか。患者さんに最良の医療を提供するためには、必要な検査や投薬が欠かせません。患者さんの治療にかかるこれらの費用は、「診療報酬」とよばれます。いま一部で、「患者さんの負担増で診療報酬が引き上げられる」との報道がされています。私たち医師は患者負担増に反対です。診療報酬とは、患者さんの治療に要する費用であり、私たちは適正な水準の診療報酬は必要だと考えます。

### 患者さんの負担増は必要ありません

そもそも患者さんの負担を引き上げる必要など全くないのです。日本が医療や社会保障に支出している予算は、主要先進国の中できわめて少なく、一方、公共投資は突出しています。無駄が指摘されている大型公共事業の費用の一部を医療・社会保障に回せば、負担増は必要ありません。

社会保障費は先進国最低。公共投資は最高。



「医療保険が赤字だから負担増はやむをえない」との報道もあります。しかし医療保険財政が赤字になった要因の一つは、医療保険への国の補助金を減らしてきたことです。国の補助金を増やせば、医療保険の赤字も解消されます。

### 政府が7月から計画している患者負担増<sup>2)</sup>に強く反対しています

※1) 政管健保国庫補助金、国保助成費など ※2) 高齢者負担増などを盛り込んだ「健保法等一部改正法案」

ぜひご意見をお寄せください。国民も医師・歯科医師ともに喜べる医療の改善をめざす

### 全国保険医団体連合会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5  
TEL.03-3375-5121 FAX.03-3375-1862  
http://www1.doc-net.or.jp/~hodanren/



### 【風景】7つのまちがい



(解答2面)

新鮮な心地よさが名残りを惜しかった。さっそく、当院でも従業員がどんな仕事をしているのかピックアップして、マニュアルの整備に向けてコミュニケーションをはかっていたかと思つた。毎年の目標設定や研修会参加のポイント制なども検討していきたいと思う。

## 第6回 Saturday Night Seminar

今回は外の世界を見渡して、先駆けて実践している企業に実際の給与体系や考え方を伺い、また、歯科界

講師には株式会社ヤギコーポレーション総務チームリーダーの八木良樹氏をお

管理職の在り方、職務調査、マニュアルの整備、昇格、昇級の在り方などの具体的な話で、あつという間に前半の時間が過ぎ、後半は、活発な質疑応答で盛り上がった。

# 成果に応じた、これからの賃金システムの考え方 人事管理のノウハウを学んで

小島 登 (内灘町・歯科)

業種を問わず激しい競争時代を迎えている現在、企業は限られた人数の従業員の能力や意欲、やる気を最大限に高めていくために、仕事における成果を公正に評価できる賃金システムを模索している。年功序列、同時入社同賃金、毎年上昇する基本給から、能率給へと移行しつつある。機械大手のコマツは、今春から英語検定試験TOEIC五百点を課長昇進の必要条件にした。

## 新刊 医療・福祉研究 2000年・第11号

●編集・発行 医療・福祉問題研究会 (金沢大学経済学部社会保障論研究室)

●発行日 2000年1月20日

●体裁 B5判・113頁

●定価 1冊 1000円 (送料160円)

この本をご希望の方は協会までお申し込み下さい

TEL 076(222)5373

FAX 076(231)5156

E-mail iskw\_sugino@doc-net.or.jp



## 有川功ドクターの 韓国訪問記 (24回シリーズ)

### 韓国事情見て歩き-第23話- エップンヨジャ アルムダウンヨジャ

私の医院に研修に来られる韓国のムルリチリヨサ(理学療法士)やカノサ(看護師)達は、イルボン(日本)ウイ(の)ヨソンドリ(女性達は)ファジャンヘ(化粧品)シンギョングル(神経を)スジャンスムニダ(使っていない)と言いつつ、時にはファジャンナムニダ(化粧品していない)とまで言う。それなりに化粧しているウリチプサム(家内)もチグウン(職員達)もそれぞれ

私の医院に研修に来られる韓国のムルリチリヨサ(理学療法士)やカノサ(看護師)達は、イルボン(日本)ウイ(の)ヨソンドリ(女性達は)ファジャンヘ(化粧品)シンギョングル(神経を)スジャンスムニダ(使っていない)と言いつつ、時にはファジャンナムニダ(化粧品していない)とまで言う。それなりに化粧しているウリチプサム(家内)もチグウン(職員達)もそれぞれ

韓国女性は喜怒哀楽がはっきりし、一般に陽性である。知らない人にはあまり笑顔を見せないが、身内の人たちには底抜けのこぼれるばかりの笑顔が絶やさない。話好きで冗談が上手で生き生きとした表情が魅力的である。韓国に美人が多いという理由の一つに韓国女性の明るい笑顔が影響しているのだろう。

を聞いて目を白黒させる。一九九七年八月十五日朝、釜山の仁済医科大学付属白病院の講義室で「先生、私です。この前お話ししたように今度、先生の医院で研修を受けたのですが」と突然言われて困惑した。比較的若く綺麗に見えた先生であったが、どうにも名前も「この前」の経緯もすくに思い出せなくて、きつくしかられてしまった。後でアルバムで調べたらすくに思い出せた。同年六月二十一日、ソウル江南聖母病院でのセミナー受講生であった。九時までの講義後の打ち合わせを終えた深夜に近い二次会で飲み交わした理学療法士の先生であった。



ソウルで深夜に会った時の彼女は、写真でも私の記憶でも化粧のない状態、または化粧の剥けた状態であった。二度目に釜山で朝、再会した時は丁寧(厚化粧)した若作り美人であった。写真でしっかりと前後を確認したが、その別人のごとき変貌ぶりには驚かされた。帰国後、早速に彼女に電話で連絡をとり何とか面目をほごした。

韓国女性は喜怒哀楽がはっきりし、一般に陽性である。知らない人にはあまり笑顔を見せないが、身内の人たちには底抜けのこぼれるばかりの笑顔が絶やさない。話好きで冗談が上手で生き生きとした表情が魅力的である。韓国に美人が多いという理由の一つに韓国女性の明るい笑顔が影響しているのだろう。

# 石川県事文化史跡めぐり

<59>

## 明治期鍼灸界の偉人

### —— 奥村三策頌徳碑 ——

多留 淳文 (日本医史学会評議員 金沢市・内科)



奥村三策碑 (金沢卯辰山)

近年、欧米では代替的に研究したのは、東京(後に東京盲学校)鍼灸もあつた。中島先生が利害を超えて私に協力してくれたのは神足先生のお陰もあつたのに違いない。物事がうまくいったときには、必ず蔭の応援団がいるものだ。

一般に、自分で自分を幸せにしようと思つてもなかなかうまくいかない。それどころか、周りの他人の幸せなところだけが目につき、その人たちが努力、苦勞しているのが見えないから、嫉妬にさいなまれる。これに反し、自分で自分は幸せにできないものだと諦めると心が安らくなる。それどころか、自分の周囲の人の世話をしたり喜んだりすることをする。こちらも結構うれしく幸せな気分になつてくる。

散歩の途中に出会う見知らぬ老人に明るく挨拶をすると、どんなにうれしそうに顔をすることか。自分には誰かを幸せにする力がある。そう信じて周囲を見渡すと不思議と気が湧いてくる。

こう考へてきて、やっとあの時の中島先生の心境が分かつたような気がした。

小学校卒業後、仕事しながら独学で勉強し、中学検定、レントゲン技師資格、医専入学、医師免許取得、不動産業を経験してきたのだ。金、社会的認知、生理的欲望を満足しても、まだ得られない充足感。

奥村三策(一八六四〜一九一三)は、元治元年(一八六四)三月二十一日に加賀藩士奥村良平の長男として、金沢の御小人町に生まれた。幼名を良吉または良太郎といつた。先祖は越前藩士で、奥村彦左衛門が京都で医学を学び、越前ではばらく医業を行ったが、廃業後、吉田と名乗つたこと

『按摩鍼灸学』(一九〇二)などの著書があり、鍼灸の存続運動、マッサージ教育の導入、盲人の鍼灸開業などに貢献した。

奥村三策(一八六四〜一九一三)は、元治元年(一八六四)三月二十一日に加賀藩士奥村良平の長男として、金沢の御小人町に生まれた。幼名を良吉または良太郎といつた。先祖は越前藩士で、奥村彦左衛門が京都で医学を学び、越前ではばらく医業を行ったが、廃業後、吉田と名乗つたこと

『按摩鍼灸学』(一九〇二)などの著書があり、鍼灸の存続運動、マッサージ教育の導入、盲人の鍼灸開業などに貢献した。

奥村三策(一八六四〜一九一三)は、元治元年(一八六四)三月二十一日に加賀藩士奥村良平の長男として、金沢の御小人町に生まれた。幼名を良吉または良太郎といつた。先祖は越前藩士で、奥村彦左衛門が京都で医学を学び、越前ではばらく医業を行ったが、廃業後、吉田と名乗つたこと

## 会員リレーエッセイ ◆14◆

### 一杯のコーヒーから

—— 開業秘話(下) ——

大石 博司 (金沢市・産婦人科)

そんな私を見て中島先生が言った。「大石先生、不動産の売買は運です。あなたに運があれば買えますよ」

そして、坪十万円、総額二千万円でその土地を買い取ることができた。驚いたことに半年後に坪三十万円でもかかわらず、中島先生はその土地の売買の手数料は一銭も受け取らなかつた。

あれから二十六年、借金のため昼夜を忘れ分婉に手術に明け暮れ、三年前にやっと入院をやめて楽になり周囲を見渡すと、あの中島先生との付き合いがなくなつていた。当然会えると思つていた医師会関

係の会合でも一度も会つたことがない。かつての中島宅も拡張した道路になつてしまつた。医専卒の方々に聞いても誰も覚えていない。

そんな空白が、ある日、突然はつきりとした景色に変わった。中島先生の友人が分かつたのだ。小松市開業の産婦人科の神足先生である。

「ああ知つてる。中島のおつさんや。昭和十八年卒、同級生や。もつとも向こうは三十三でこちらは十八だつたけど。彼は学校は小学校だけで、独学して検定で中卒の資格をとり、谷野内科でレントゲン技師をしていたのが医専の試験を受けて合格した。鶴来の手前で開業していたが、不動産の方がもうかるからといつて医者を開業はやめてしまつた。今、わしが七十四歳やから生きていたら九十歳ぐらいや。十年ほど前に亡くなつた。息子さんは早稲田を出ている。あんたが開業するころ、彼との話の中で、あんたの話が出てきたので、世話してやつてくれと頼んだことがある」

(やつぱりそうか)

人間関係の糸は思いがけぬ方向につながつていく。実は私は神足医院へ、昭和三十八年から二年間、週に二晩、お産の当直アルバイトで通つていたので

あつた。中島先生が利害を超えて私に協力してくれたのは神足先生のお陰もあつたのに違いない。物事がうまくいったときには、必ず蔭の応援団がいるものだ。

一般に、自分で自分を幸せにしようと思つてもなかなかうまくいかない。それどころか、周りの他人の幸せなところだけが目につき、その人たちが努力、苦勞しているのが見えないから、嫉妬にさいなまれる。これに反し、自分で自分は幸せにできないものだと諦めると心が安らくなる。それどころか、自分の周囲の人の世話をしたり喜んだりすることをする。こちらも結構うれしく幸せな気分になつてくる。

散歩の途中に出会う見知らぬ老人に明るく挨拶をすると、どんなにうれしそうに顔をすることか。自分には誰かを幸せにする力がある。そう信じて周囲を見渡すと不思議と気が湧いてくる。

こう考へてきて、やっとあの時の中島先生の心境が分かつたような気がした。

小学校卒業後、仕事しながら独学で勉強し、中学検定、レントゲン技師資格、医専入学、医師免許取得、不動産業を経験してきたのだ。金、社会的認知、生理的欲望を満足しても、まだ得られない充足感。

## 春の食べ歩き会のご案内

とき 5月19日(金)午後7時半〜

ところ 旬彩処 一香  
金沢市八日市1の55の2  
電話 076(241)1077

会費 お一人1万円(込み込み)

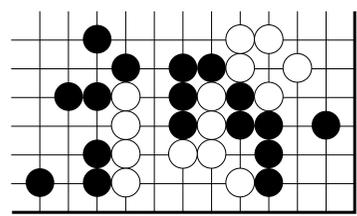
申込み 電話・FAX・E-mailで  
協会事務局まで  
電話 076(222)5373  
FAX 076(231)5156  
E-mail:iskw\_sugino@doc-net.or.jp



## 碁

■出題者 七段 向井富治 (金沢市・内科)

本田邦久九段の指導碁に出来た形で黒番です。白は隅の黒に対する利き味を見えています。無条件で白を取って下さい。



(解答は2面にあります)

それを補うのに真、善、美、に代表される自己実現を求めたのではなからうか。善、道徳的によいこと、義理、慈善、救済、他者共感・・・そこには自己を超越して大自然を含む他者との一体感を求める姿がある。一杯のコーヒーを初対面の人に奢ること、ここに中島先生は自分のその時の生き方と共通のものを感じたのではなかつたか。

私はそんな深い意味はもたなかつた。しかし、結果として大きな恩恵を受けたのである。中島先生、ありがとうございました。(完)